

在日米海軍横須賀基地司令部による仮設電源サービスの採用について  
～基地構内の電力レジリエンス維持・向上に貢献～

2024年11月20日

東京電力ホールディングス株式会社

東京電力エナジーパートナー株式会社

日本ファシリティ・ソリューション株式会社

東京電力ホールディングス株式会社（社長：小早川智明、本社：東京都千代田区、以下「東京電力HD」）、東京電力エナジーパートナー株式会社（社長：長崎桃子、本社：東京都中央区、以下「東京電力EP」）、および日本ファシリティ・ソリューション株式会社（社長：成願靖朗、本社：東京都品川区、以下「JFS」）は、在日米海軍横須賀基地司令部（以下、「横須賀基地」）に「仮設電源サービス（以下「本サービス」）」を採用いただき、本日、設備の設置に着工しました。

本サービスは、横須賀基地における電源の信頼性と安定性の維持・向上のため、基地内の電力不足時に稼働する仮設発電機等を設置し、発電した電力を定額でご利用いただくもので、2025年5月に開始いたします。

#### ■本サービスの概要

本サービスは、横須賀基地と東京電力EPの契約の下、東京電力HDが仮設発電機等の設備設計を、JFSが設備の設置に加え、その後の設備の維持・監視等を行うことで提供されます。当該設備には、国内最大級の出力となる仮設発電機（8,800kVA）が設置されます。

また、仮設発電機の起動時に発生する変圧器の電流を抑制し、供給先の機器を保護するソフトスタートや負荷変動吸収等の機能を有するリチウムイオン蓄電池設備（872kWh）を設置し、災害等に備えた電源の信頼性・安定性を強化します。このような蓄電池の役割は、カーボンニュートラル社会の実現へ向け、今後拡大する蓄電池マルチユースの重要な機能の一つに挙げられています。

#### ■採用の背景

横須賀基地からは、主に以下の点をご評価いただき、本サービスを採用いただきました。

- ・新たな電気設備を保有することなく、電源の信頼性と安定性を維持・向上できること
- ・必要に応じて仮設発電機や蓄電池、遮断器設備等を迅速に設置および撤去できること
- ・東京電力HDが独自に設定した高い安全基準に則した蓄電池とその活用方法の知見等に基づき、横須賀基地が進める電力レジリエンス\*の取り組みに貢献できること 等

※電力インフラおよびシステムの強じん性を表しています

## ■東京電力グループの取り組み

東京電力 HD、東京電力 EP および JFS は、お客さまのエネルギー活用を踏まえた市場開拓力・課題解決力などの強みを生かし、社会的価値を高めるとともに、高い信頼性と安全・安心な電力システムの構築に引き続き寄与してまいります。

## ■主な機器概要

### 【仮設発電機設備】

- ・ 仮 設 発 電 機 : 8 台×1, 100kVA-440V-60Hz ディーゼル発電機(1, 950L 燃料タンク付)
- ・ 昇 圧 変 圧 器 : 4 台×2, 000kVA-440/6, 600V 油入変圧器
- ・ 遮 断 機 設 備 : 7 台×12. 5kA-6, 600V 真空遮断器 (VCB)+1 台×6, 600V 断路器 (LBS)

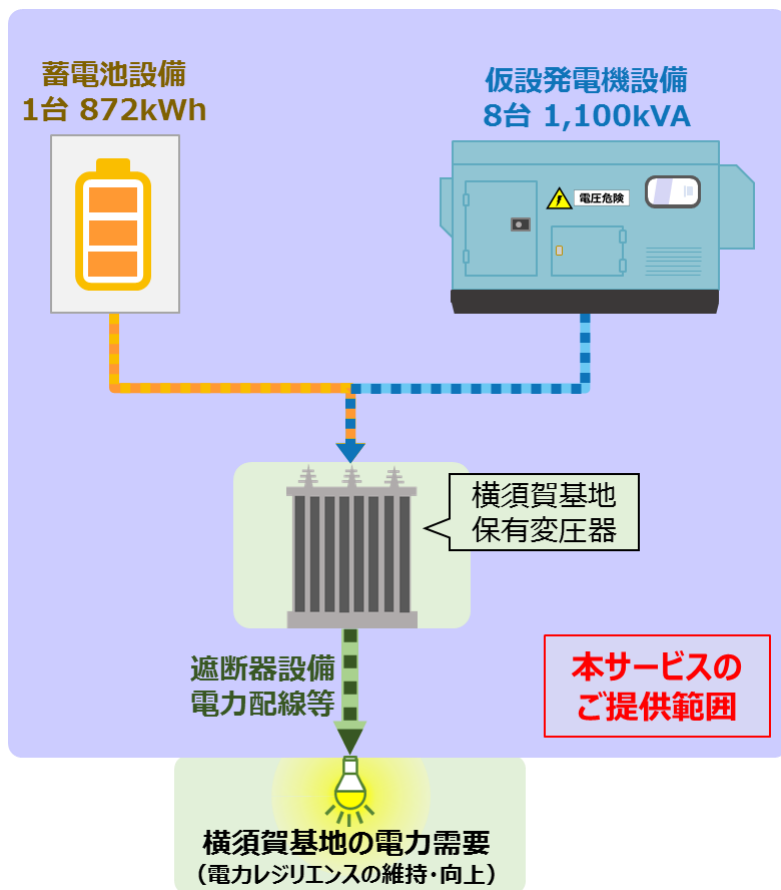
### 【蓄電池設備】

- ・ 蓄 電 池 : 1 台×リチウムイオン蓄電池 (DC 端 872kWh)
- ・ 交直変換装置 : 1 台×500kVA 交直変換装置
- ・ 連系遮断器他 : 1 台×12. 5kA-6, 600V 真空遮断器 (VCB)+1 台×500kVA 油入変圧器
- ・ 特 記 事 項 : 蓄電池安全規格 JIS C8715-2 および JIS C4441 に加え、東京電力 HD 独自の安全基準に則した高い安全性を確保

### 【遮断器設備等】

- ・ 遮 断 器 設 備 : 3 台×20kA-13, 800V 真空遮断器 (VCB)
- ・ 電 力 配 線 : 亘長約 1km×13, 800V ケーブル工事 等

■本サービスのご提供範囲 (■)



以 上